



西念寺だより 文月号



平成30年7月10日
〒610-0331 京田辺市田辺北里29番地
TEL 0774-62-1027 0774-63-2912

今年もお盆が近づいて参りました 「ありがとう」と「当たり前」

今年の夏は酷暑になるとの予報が発表され、毎日蒸し暑い日が続きますが、壇信徒の皆様方にはいかがお過ごしでしょうか。平素は寺門運営に何かと御協力賜りまして誠にありがとうございます。



第25回生け花協会展参加作品

さて、先月18日に大阪府北部を震源とする強い地震が発生しました。京都府南部でも震度5強、幸い京田辺では大きな被害は無かったようですが、周辺の市町村ではかなりの被害が発生したと報道され、改めて自然災害への備えの大切さを実感しました。

ところで、「暑い」の反対語は「寒い」、「長い」の反対語は「短い」ですね。それでは「ありがとう」の反対語は何かご存じですか？ それは「当たり前」です。

以前勤務していた学校の校区に、東日本大震災の直後に福島県から御主人以外の御家族が避難して住んでおられました。最近その御主人にお目にかかり、その後の話を伺いました。大津波で彼の家も含めて付近一帯の家屋は流されてしまい、仮設住宅での生活を余儀なくされたそうですが、ようやく新居を建てて引っ越されました。そこで彼の友人が聞きました。「家を流されて何もかもなくなるといことが想像できないけど、その時はどんな気持ちでしたか？」彼は答えました。「震災翌日、住んでいたところに行ってみたら、本当に何もかも無くなっていた。柱一本すらないんだ。あまりにきれいさっぱりなくなっているの、感情に表すこともできなかった。」



それから彼は、着の身着のまま避難所で世話役を引き受け奔走します。程なく支援物資が届き、下着等の着替えはできましたが、その時一週間以上着ていた上着は、今も捨てられず取ってあるそうです。震災発生時、職場にいた彼は、まさか家まで流されるなど想像もしなかったそうです。

仕事が終わって帰れば、風呂に入って汗を流し、家族と一緒に食事をする。そんな当たり前のことが、あの日も続くことを疑わなかったはずでした。

普段私たちは家に帰って、家の柱に「今日もありがとう」と言うのでしょうか。お風呂のお湯に、おかげさまで疲れがとれましたと礼を言うのでしょうか。食事のとき「いただきます」と言うのがせいぜい。家族同士で「今日も無事だったね」と、お互いにねぎらいの言葉を掛け合うのでしょうか。心で思っても口に出すことはまず無いでしょう。当たり前慣れてしまうと、ややもすると感謝の気持ちが薄れてしまいがちです。

しかし、彼のように当たり前の生活をすべて流されながらも、当たり前の生活を取り戻した人は、当たり前の有り難さを実感しています。

震災後、あの困難を乗り越えて今に至っているのは、当たり前ではなく、有ることが難しいのに今有る、本当に有り難いことだという実感でしょう。そして彼にとっては、「ありがとう」と「当たり前」は、反対語ではなく同意語に違いありません。

今年もお盆が近づいて参りました。日々大禍無く、無事に過ごさせていただいている事は決して当たり前ではない事に気付き、改めて御先祖や父母に感謝し、孝養する、お盆をそのような気持ちで過ごしたいと思えます。

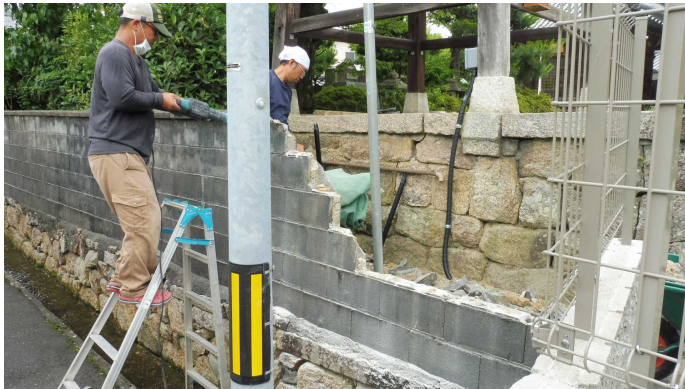
裏面に続く

【鐘楼東側のブロック塀撤去についてのお知らせ】

先日の大阪府北部を襲った地震により、高槻市の小学校でブロック塀が倒れ、小学4年生の児童がその下敷きになって亡くなるという痛ましい事故が起きました。

当山でも鐘楼東側のブロック塀は昭和30年頃に設置されたもので、以前よりひび割れ等が目立っており、控え壁も無く、壁の高さも現行の建築基準法施行令に適合しておらず、また隣接道路は大変狭いにも関わらず、最近では人通りも多いことから、万一の事故を未然に防ぐための措置として取り急ぎ撤去いたしました。檀信徒各位には事後報告になりますが、御了承の程お願いいたします。

なお、現在は臨時的な仮囲いを設置しています。



【本年度棚経について】

極楽浄土に往生された御霊が、御家族のおられる皆様の御家庭のお仏壇に設けられる精霊棚に里帰りされている時、各家の精霊棚を回って御供養にあがり読経することを棚経といい、古くからのお盆の特色でもあります。今年も8月11日から15日にかけてお参りさせていただきます。



今年も、住職、副住職の他、これまでからお世話になっております知恩院の小笠原上人の他、知恩院式衆の大田信弘上人にもお世話になることになりました。また家内の由利子が大本山清浄華院での修行と総本山知恩院での別開五重を満行し、資格を拝命しておりますので一部の檀信徒様のお宅にお伺いさせていただく予定です。

なお、別紙にて各檀信徒様宅を訪問させていただく日時と訪問者を印刷したプリントを同封させていただいております。ただ、近年は交通事情の悪化に加え、急に激しい夕立に見舞われるなど、天候の変化等により予定時刻に遅れてしまうことも多くなっています。誠に御迷惑とは存じますが、何分限られたお盆の期間内にすべての檀信徒様宅を訪問させていただくことから、御理解と御協力の程お願い申し上げます。



【建築資金寄進のお知らせ】

今回、下記の方から御寄進を賜りました。

第二期工事を控え、まだまだ資金が必要な中、厚く御礼申し上げます。

- ・ 10万円 某 氏
- ・ 5万円 原 田 つぐみ 様 (順不同)



【院号料御寄進のお知らせ】

今回は下記の方より院号(什器什物基金)料を御寄進いただきました。誠に有り難うございました。御寄進いただきました方の御芳名は本堂内にも掲出してあります。

- ・ 院号(什器什物)料 金35万円 為 善徳院浄誉実道純新居士 (下村新一様)
施主 下村新一様